

下呂更生保護
サポートセンター
だより

第58号

〒509-2517 下呂市萩原町萩原 1359 番地 1
TEL/FAX 0576-20-4216
E-mail gerohogoshikai@ccn.aitai.ne.jp

10月23日

岐阜ダルクの方をお招きして
「薬物乱用防止研修会」を実施しました。

下呂保護区を担当して

保護観察官
東松 美香子



10月1日より下呂保護区保護司会の担当となりました、東松美香子です。約1年半の育児休業を経て、10月1日に復職しました。岐阜保護観察所での勤務は今回が2回目で、1度目は採用から3年間、企画調整課に勤務し、保護司の新任、再任手続きを主に担当しており、会長をはじめ、たくさんの方にお世話になりました。また、当時の下呂保護区保護司会では、ひまわりの写真コンテストや、スマホ教室など、工夫が凝らされた活動が活発に行われていたことを今でも覚えています。

まだまだ未熟者ですが、微力ながら下呂保護区保護司会の皆様と保護観察業務に尽力したいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします

10月23日に下呂市民会館を会場にして「薬物乱用防止研修会」を行いました。下呂保護区保護司会では、保護司として薬物事犯に関わる場合の課題の大きさをふまえ、この研修会を毎年1回続けて実施しています。

本年度は、岐阜ダルクの施設長である遠山香さんとスタッフ・利用者、計4名の方を講師に招き「薬物依存の実際と薬物依存者への支援のしかた」をテーマにお話を聞きました。4名とも覚醒剤依存で苦しみ逮捕歴もある方です。4名の方それぞれから、覚醒剤依存の具体的に生々しい体験談やダルクでのリハビリの様子、保護観察での保護司との面接の感想など、実体験ならではの真実味にあふれた貴重なお話を伺うことができました。ダルクのプログラムの中心は、自分の一番言いたくない本音をさらけ出すことだと聞き、保護司の取り組みにも大いに参考になると感じました。



中央が遠山施設長

保護司として薬物依存と関わる際、ダルクと連携することでうまく事が運ぶ場合もあるかと思えます。これを機会に岐阜ダルクとつながっていただけると考えます。

参加者は、31名（保護司15、更女10、市議5、市理事1）。以下、参加者の感想の一部を掲載します。

今日は貴重な経験や体験談を聞かせていただきありがとうございました。誰でも自分の黒い部分を持っていると思いますが、特に依存症の方々はそれぞれつらい過去を持ってきてそれを正直に話すことで自分を見つめることにつながるのだとわかりました。

対象者に対して、保護司として何ができるか考えていましたが、ダルク（他の所もですが）などつなげることが私にできることかと思いました。また、これから対象者と対応していくにあたり、対象者に寄り添い、話しやすい関係が築いていけるようにしたいと思いました。とてもよい話が聞けて良かったです。（保護司）

実際に薬物依存を経験され立ち直られた方のお話を聞けることを楽しみにして来ました。研修会に参加でき、本当によかったと思っています。壮絶な経験をされているのに、どろどろとした体験を正直に伝えてくださり、心の強い方だと思いました。薬物の怖さを知識だけではなく、実感としてとらえることができました。

今後、子ども達が社会人に成長する時、薬物を勧められたりすることがあるかもしれませんが、その時ブレーキをかけられるようにするため、ぜひ今日のようなシンポジウムを親子共に聴ける機会を作ると良いと思います。社会全体で真剣に取り組む課題だと思いました。（更生保護女性の会 会員）



(研修会参加者の感想 続き)

近所に大麻栽培で逮捕された人がいるので関心をもって参加させていただきました。

薬物を使うきっかけはそれぞれ違うとは思いますが、まわりにいる人の手助けがなかったことは気の毒だと思います。

体験された過去の話を知りましたが、大変怖さを感じました。

テレビでダルクの主催者の話を聞いたことはありましたが、今日のように詳しく話を聞くことができ、ダルクの重要性を感じました。辛い体験を話して下さった皆さんが薬物を使うことがないことを願います。

「薬物依存は一生治らない病気」という言葉は、大変重く感じます。学校で話されると伺いましたが、子ども達に伝えていただきたいと思いました。

お話を聞いて良かったです。ありがとうございました。(下呂市議会議員)

とても内容の濃い、勉強になる研修会でした。

小中学生や高校生に聴かせる機会を作ったという意見がありましたが、未成年には刺激が強いため、まずは市民の実情を知っておくべき市役所や県の職員を対象とした研修会から始められたらどうでしょうか。

芸能人が薬物を使うのは、プレッシャーが強いから。今は、ストレス社会ですので、薬物に手を出す人が増える可能性を秘めています。

薬物依存者を回復に導くダルクの活動を応援しています。

(下呂市役所 理事)

講師自身が薬物依存の経験者であることから、体験談としての説得力のある話でした。

事件—警察—検察—裁判所—刑務所—出所、という事件の最終ランナーが保護司だと言われますが、DV虐待などが引き金になることを思うと、社会の一員としてスタート前にバトンを渡さない役割も大切だと思います。

ミーティングの重要性、大切さは理解できました。ミーティングで何故そこまで正直に心が開けるのか、ポイントをもっと深掘りして聞きたいと感じました。

「自己肯定感」は教育の大きなキーワード。常にこのキーワードを意識した取り組みを大切にしていきたいと思っています。(保護司)



12月予定表 (サポートセンター当番)

月	日	曜日	行 事 名	午前(9:00~12:00)	午後(12:00~15:00)
12	1	日			
	2	月		青木正範 山中麦子	都築保彦 山中麦子
	3	火			
	4	水		永田光由 山中麦子	高井範和 山中麦子
	5	木			
	6	金	定例研修会15:30~ 情報交換会17:30~		
	7	土			
	8	日			
	9	月	広報委員会	大江真人 永田光由	都築保彦 青木正範 可児正充 高橋典子
	10	火			
	11	水		高井範和 山中麦子	垣内新子 山中麦子
	12	木	飛騨新任保護司研修会 高山市役所13:30~		
	13	金		青木正範	都築保彦
	14	土			
	15	日			
	16	月		永田光由 山中麦子	高井範和 山中麦子
	17	火			
	18	水		青木正範 山中麦子	山中麦子
	19	木			
	20	金	広報委員会	大江真人 永田光由	都築保彦 可児正充 山中麦子
	21	土			
	22	日			
	23	月		青木正範 山中麦子	高井範和 山中麦子
	24	火			
	25	水	サポートセンター大掃除		都築保彦 山中麦子
	26	木			
	27	金			
	28	土			
	29	日			
	30	月			
	31	火	大晦日		

年末大掃除のお願い

右記の日程でサポートセンターの大掃除を行いますので、ご都合のつく方はこちらにご参加ください。

12月25日
(水)
午前10時から

